

2015年10月13日



報道関係者各位

## 第1回 超人スポーツ EXPOのご案内

超人スポーツ協会は、経済産業省および一般財団法人デジタルコンテンツ協会が主催する「デジタルコンテンツ EXPO 2015」Features2015 プログラム内にて「第1回 超人スポーツ EXPO」を開催致します。

「第1回 超人スポーツ EXPO」では、様々な分野でご活躍のゲストの皆さまと共にスポーツ×産業・スポーツ×学術の最新動向と今後の展望を議論するシンポジウム『スポーツを変えるコンテンツ技術の可能性』、7月に開催された「超人スポーツハッカソン」において様々なバックグラウンドのクリエイターが集まり作り上げた超人スポーツ各種競技を実際に体験できる「超人スポーツ体験会」、超人スポーツアカデミーに所属する研究者やクリエイターが研究開発を進める超人スポーツテクノロジーの展示、株式会社meleapが開発するAR(拡張現実感)スポーツゲーム『HADO』、100以上のアイデアが飛び出した「超人スポーツイラスト大会」の優秀作品展などを一挙公開致します。

### シンポジウム

日時：10月23日(金) 開場 13:00 開演 13:30 終演 15:00

場所：日本科学未来館7階 みらいCANホール

登壇者：

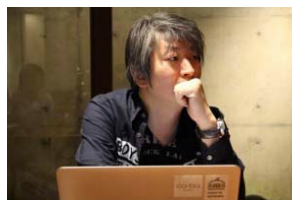
**稲見 昌彦** 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授／超人スポーツ協会共同代表

**宇野 常寛** 評論家 / 〈PLANETS〉編集長

**小笠原 治** 株式会社ABBALab 代表取締役

**菅野 薫** 株式会社電通 CDC / Dentsu Lab Tokyo

参加方法：DCEXPO ホームページ内にて要参加登録 (<http://www.dcexpo.jp/booking>)



### 「スポーツを変えるコンテンツ技術の可能性」

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることで、スポーツ業界に注目が集まっています。そうしたスポーツ業界に、HMDやドローンなどコンテンツ産業で使われた技術を導入することで新しいスポーツを生み出そうという試みも行われています。本シンポジウムでは、コンテンツ技術による新しいスポーツの可能性について、コンテンツ産業のみならず他産業分野での活用や学術分野での研究までを含めて最新の動向と今後の展望を紹介します。

## 展示

日時： 10月22日（木） 10:00～17:00 プレス向け内覧会・招待者デー  
10月23日（金） 10:00～17:00 一般公開  
10月24日（土） 10:00～17:00 一般公開  
10月25日（日） 10:00～17:00 一般公開

場所：日本科学未来館 1階 コミュニケーションロビー  
([http://www.dcexpo.jp/exhibition\\_index](http://www.dcexpo.jp/exhibition_index))



### (1) 超人スポーツショーケース（超人スポーツ協会）

超人スポーツの実現に向けた技術開発を進めている「超人スポーツアカデミー」から身体・道具・フィールド・観戦・トレーニング・プレイヤー層を拡張する、最新の超人スポーツ技術を紹介致します。

#### ・展示成果物（予定）

「アート義足カバー ユニコーン」 XSENSE : More Than Human

「アンプラグドパワードスーツ」 広島大学大学院 栗田研究室

「Augmented Dodgeball」 電気通信大学大学院 野嶋研究室

「瞑想アプリ myalo」 株式会社ワン・トゥー・テン・ホールディングス

「超ブラインドサッカープロジェクト」 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科/日本ブラインドサッカー協会

「SMASH」 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

「aqross」 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

「Telexistance Drone」 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

### (2) 超人スポーツハッカソン-スポーツクリエイションの場作り-（超人スポーツ協会）

2015年7月に開催された「超人スポーツハッカソン」で誕生した新しい超人スポーツを紹介致します。屋外で行われるワークショップでは、実際に生まれたばかりの超人スポーツを体験することもできます。

### (3) 超人スポーツイラスト大会優秀作品展（日本デザイナー学院/超人スポーツ協会）

専門学校日本デザイナー学院の学生を対象に実施した、超人スポーツを自由に発想するイラスト大会。100点を越える応募作品から、9月学園祭にて発表された優秀作品を展示・紹介致します。

### (4) HADO（株式会社 mealeap/超人スポーツ協会）

ウェアラブル×AR技術を使って魔法を撃ち合う「HADO」。第1回 超人スポーツ EXPOでも、実際に来場者に対戦していただき、敵にめがけて技を打ち合う爽快な体験をしていただきます。

## 体験会

日時：10月22日(木) 10:00-13:00 プレス向け内覧会  
10月23日(金) 10:00-13:00、10月24日(土)～25日(日) 10:00～16:00  
一般来場者向けデモンストレーションおよび体験会

場所：ウエストプロムナード（下記地図参照）



### ・ 出展競技

- 「Bubble Jumper」 (超人スポーツハッカソン 最優秀競技)
- 「キャリオット」 (超人スポーツハッカソン 優秀競技)
- 「Jintory」 (超人スポーツハッカソン 優秀競技)
- 「Hover Crosse」 (超人スポーツハッカソン)
- 「EXTREME CRUTCH」 (超人スポーツハッカソン)
- 「Augmented Dodge」 (電気通信大学大学院 野嶋研究室)



## 超人スポーツとは

「超人スポーツ」は、いつでも、どこでも、誰もが楽しむことのできる新たなスポーツです。人間の身体能力を補綴・拡張する人間拡張工学に基づき、人の身体能力を超える力を身につけ「人を超える」、あるいは年齢や障害などの身体差により生じる「人と人のバリアを超える」、そのような超人（Superhuman）としてフィールドで競う、「人機一体」の新たなスポーツを創造します。超人スポーツの実現に必要な技術開発、プレイヤーやコミュニティの育成のみならず、自ら新たなスポーツのルールをデザインし、新しい時代に対応した競技を生み出し、スポーツ分野そのものも拡張していきます。

## デジタルコンテンツ EXPO 2015 開催概要

コンテンツの制作や表現を支援するコンテンツ技術は、情報処理や映像表示の能力を向上させながら、ゲームやアニメなどのコンテンツ産業を発展させる原動力となってきました。コンピュータグラフィクスや3D、VRなどの技術分野に加え、身体を用いたインタフェース技術や人間の五感に働きかける技術など、新たな技術の研究開発も活発に行われ、芸術やコミュニケーションの分野でも新たな文化を生み出してきました。コンテンツ技術は、今後医療やロボットなど他の産業分野に応用することで、より大きな役割を発揮することが期待されています。

デジタルコンテンツ EXPO は、こうしたコンテンツ技術をテーマとした国際イベントです。コンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、企業関係者等が参加し、最新の情報を交換しながら、デジタルコンテンツ産業の5年後、10年後の将来像を描き出します。

(デジタルコンテンツ EXPO 2015 公式ウェブサイトより抜粋 <http://www.dcexpo.jp/outline>)

名 称：デジタルコンテンツ EXPO 2015/DIGITAL CONTENT EXPO 2015

会 期：2015年10月22日(木)～25日(日) 10:00 開場 17:00 終了

※22日は招待者デーです。一般の方も事前予約すれば、ご入場いただけます。

※10/22 10:00～13:00 プレス内覧会

13:00～17:00 招待者デー(要事前予約)

会 場：日本科学未来館

東京都江東区青海 2-3-6 <http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

主 催：経済産業省

一般財団法人デジタルコンテンツ協会

共 催：日本科学未来館

## お問い合わせ先

本プログラム(第1回 超人スポーツ EXPO)に関する取材のお申込みは下記一般財団法人デジタルコンテンツ協会へ、本プログラムならびに本協会に関するお問い合わせは、下記超人スポーツ協会事務局へご連絡ください。

・デジタルコンテンツ EXPO2015 および第1回超人スポーツ EXPO に関する取材申込み

**一般財団法人 デジタルコンテンツ協会**

担当：田辺・瀬尾・大森

E-Mail： [info@dcexpo.jp](mailto:info@dcexpo.jp)

Web： <http://www.dcexpo.jp/press>

・本協会に関するお問い合わせ

**超人スポーツ協会 事務局**

住所：〒107-0052 東京都港区赤坂 3-13-3 みすじビル 4階 一般社団法人融合研究所 内

Tel：03-5114-6722 Web：<http://superhuman-sports.org/> Email：[contact@superhuman-sports.org](mailto:contact@superhuman-sports.org)

担当：坂本・折笠